

ダクトテープで補修したホースが火災の原因！

2007年7月



洋上採油プラットフォームで、作業員が可搬式薬品移送タンクからホースで繋がれた貯槽にメタノールを移していた。貯槽に重力で送入するためタンクをクレーンで吊り上げたとき、メタノールがホースの孔から噴き出し最上階デッキで着火した。横方向に噴き出したメタノールも第二デッキ上にあった移送場所直下のコンプレッサーの排気の熱で着火した。(慌てた)作業員が足でバルブを閉じようとしたとき移送タンクのサイトグラスが破損し火が大きくなり、他の二つの薬品移送タンクのリリース弁が開いていたため更に広がった。



22個の30ポンド携帯化学消火器、2基の車つき125ポンド消火装置を使った後、消火水システムを使用して両デッキの火事は治まった。(この火事で)一人が第二度の火傷を負った。

消火後、移送タンクから貯槽にメタノールを送るのに使用されたホースは裂けていたもので、作業前に(空調)ダクト用(粘着)テープで補修されていたことが判明した！

あなたにできること

- 有資格者による変更管理審査なしに危険物を扱う装置の応急修理あるいは正式許可なしの修理を絶対に行わないこと。
- 装置の使用前に必ず点検を行うこと。破損・腐食・不適切な修理・その他あらゆる種類の欠陥の兆候を発見したときは、作業開始前に交換すること。
- コンプレッサーのような着火源の近くで引火性製品を移送しないこと。

作業開始前に装置を点検すること！

AIChE © 2007. 不許複製。非営利的な教育目的のための複製は奨励する。ただし、再販目的のための複製は、CCPS以外のいかなる者に対しても禁止する。コンタクト先: ccps_beacon@aiche.org or 212-591-7319